

2025年度 群馬大学共同教育学部
学校推薦型選抜

教育心理専攻

小論文

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題用紙を開いてはいけません。
2. 問題用紙は表紙を含め3枚、解答用紙は1枚、下書用紙は1枚です。落丁、乱丁、印刷不鮮明の箇所があった場合には申し出てください。
3. 受験番号と氏名は全ての解答用紙の所定の欄に必ず記入してください。
4. 解答は指定の解答用紙に記入してください。
5. 解答用紙は持ち帰ってはいけません。
6. 問題用紙と下書用紙は持ち帰ってください。

教育心理専攻

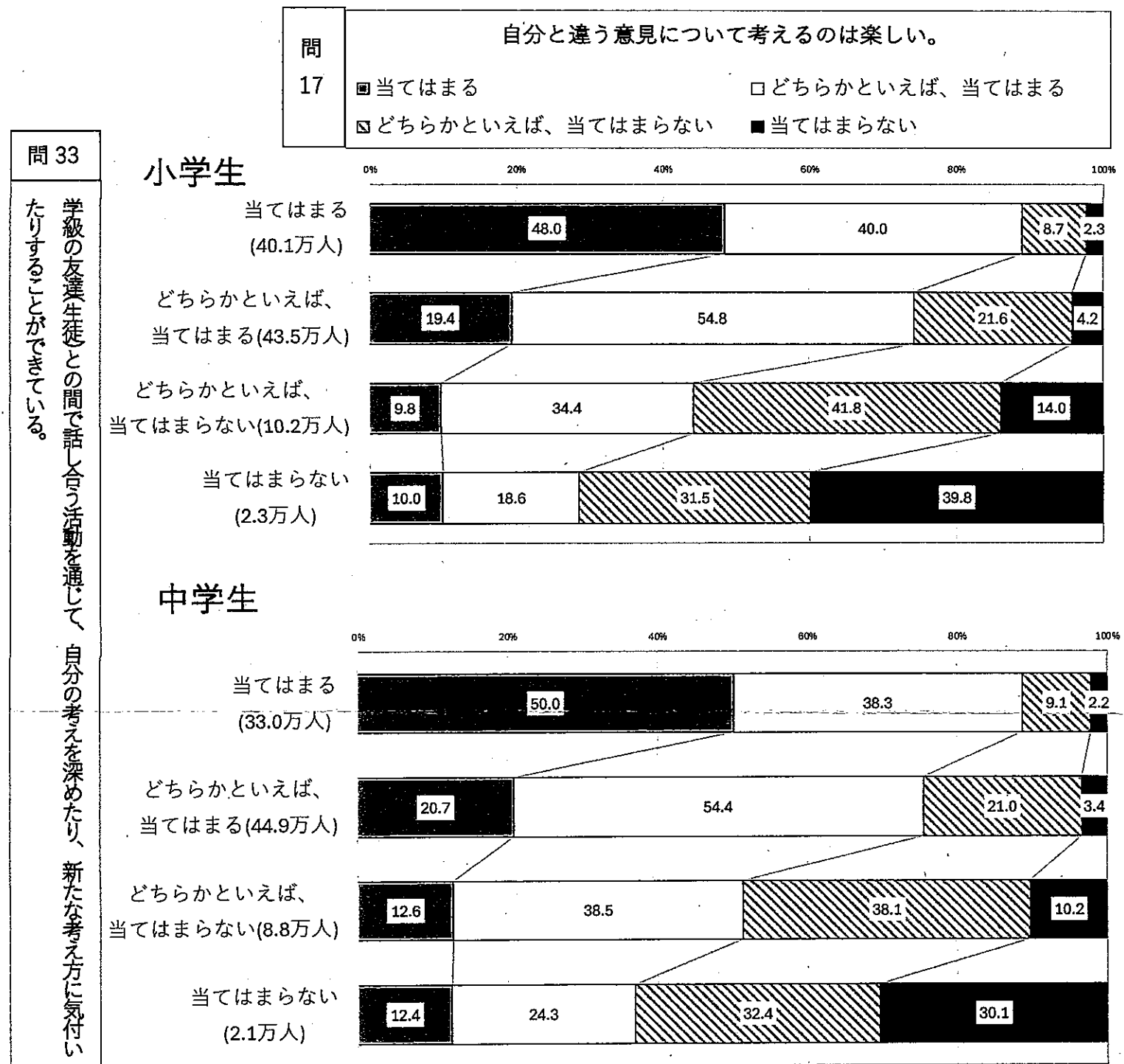
小論文

国立教育政策研究所によって行われた令和6年度全国学力・学習状況調査では全国の小学6年生、中学3年生が学習や生活についての質問に回答しています。本問では問33「学級の友達(生徒)との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができている。」と問17「自分と違う意見について考えるのは楽しい。」という設問を取り上げます。

これらの設問に対して児童・生徒は「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」「どちらかといえば、当てはまらない」「当てはまらない」から回答を選択しています。図は2つの設問に対する小学生・中学生の回答を組み合わせ、その割合を示したものです。

図から分かることを記しなさい。その上で、学校生活の中で話し合いで考えを深めたり新たな考えに気付いたり、自分と違う意見について考えるのは楽しいと思えるために教師はどのように指導・支援することが大切だと思うが、自分の経験を踏まえて書きなさい。(600字以内)

図 小学生・中学生の回答の割合



出典：国立教育政策研究所(2024). 令和 6 年度 全国学力・学習状況調査の結果について
 (<https://www.nier.go.jp/24chousakekkahoukoku/report/data/24summary.pdf> 2024.09.26)

図は作問の都合上、一部改編しています。